



「お見合い相手が運命でした。」

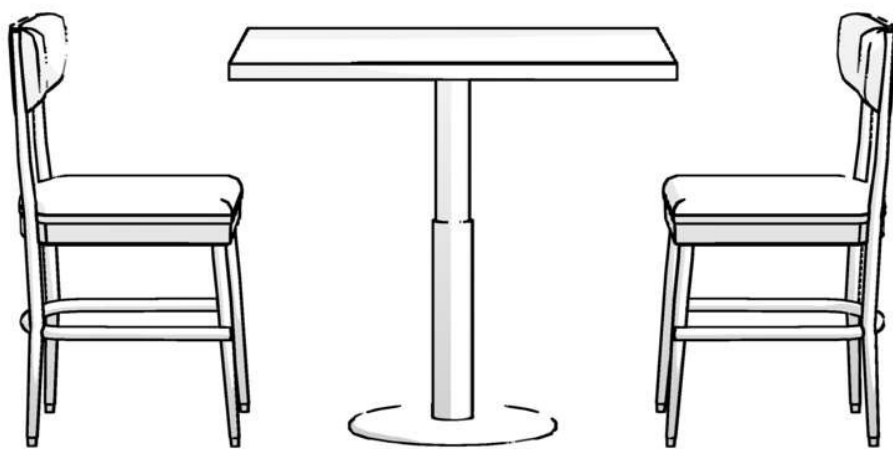
発行日：2023年10月8日
発行者：たいち
連絡先：tune4421@gmail.com
Twitter(X)：@taichi4421
印刷所：株式会社 栄光

あの…
本当に俺で
いいんですか

大丈夫だよ

結婚の日までに
僕が一から
教えてあげる

お見合い相手が
「運命」でした。





数時間前

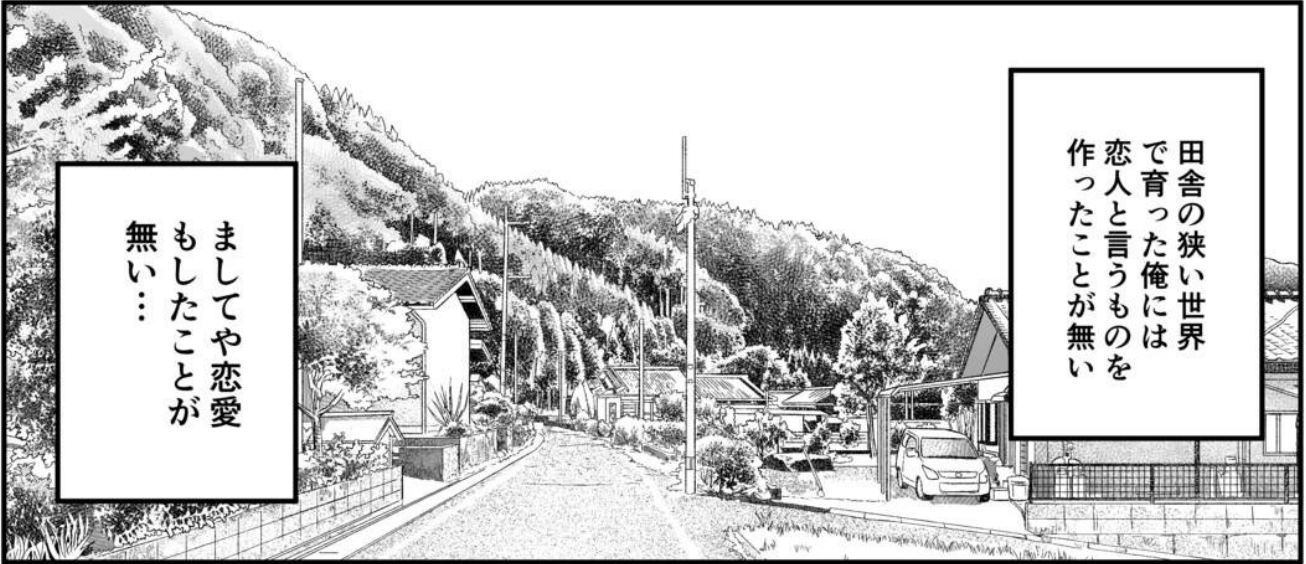


都会だ



お見合いをしに
この街に来た

俺
男鹿玲也は
この度



ましてや恋愛
もしたことが
無い…

田舎の狭い世界
で育った俺には
恋人と言うものを
作ったことが無い



痺れを切らした
親から半ば
強制的に見合いを
させられる事に



いつの間にか
身内には痛い
目で見られ

年齢

独身
実家住み



しかもちゃんと
した相手が
見つかるまで
帰ってくるなど

家を追い出され
てしまった

これ1人ずつ
会って結婚相手
を見つけ出せと…

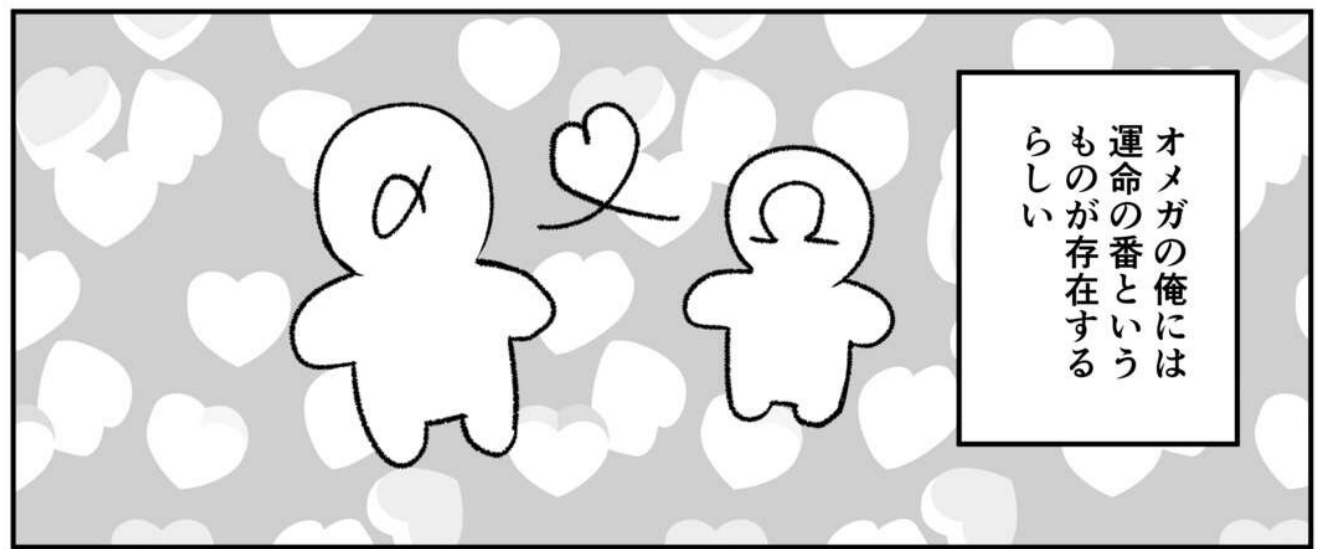


そもそも俺
自身に恋愛経験
が無いから

そう簡単に
相手は見つから
ないと思うし

気まづくなる
未来しか見えない

は！



オメガの俺には
運命の番という
ものが存在する
らしい



まあそう都合
よくいるわけ
ないか

何だこの
におい...



正直お見合い
なんて面倒だし
運良く道端で
その人と出会え
たりしないかな





えっ



あっ



急に……っ

待って待って
何これ



すみません
降ります！

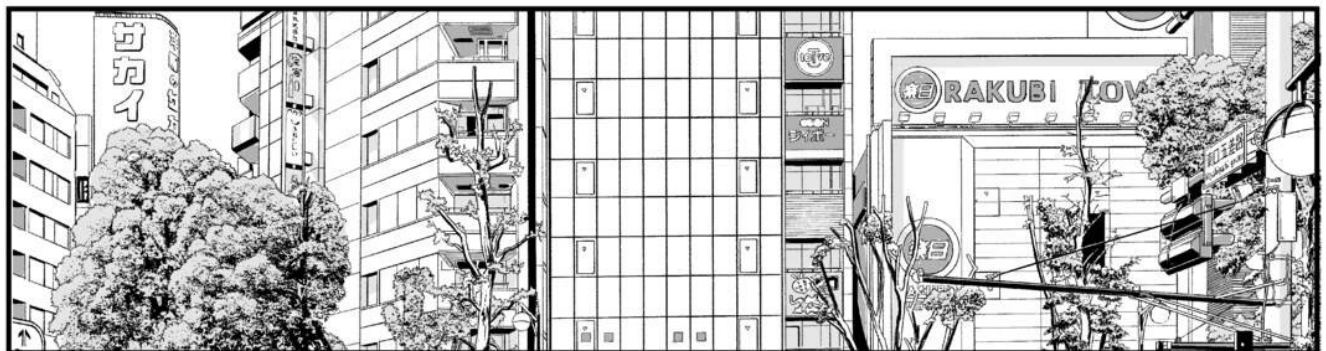


あの……君

ほっ

ほ







さつき
電車の人!!!

あれ

さつき電車で
あった方ですよ

本日担当させて
頂きます私
紺野と言います

よろしくお願
い
します

いやーまさか
うちのお客様
だったとは

よ…よろしく
おねがいます

はは…ほんと
こんな偶然
あるんですね



先輩

今日は随分と
機嫌が良さそう
だな

ふふ
そうですねか？

?

顔に出てるぞ

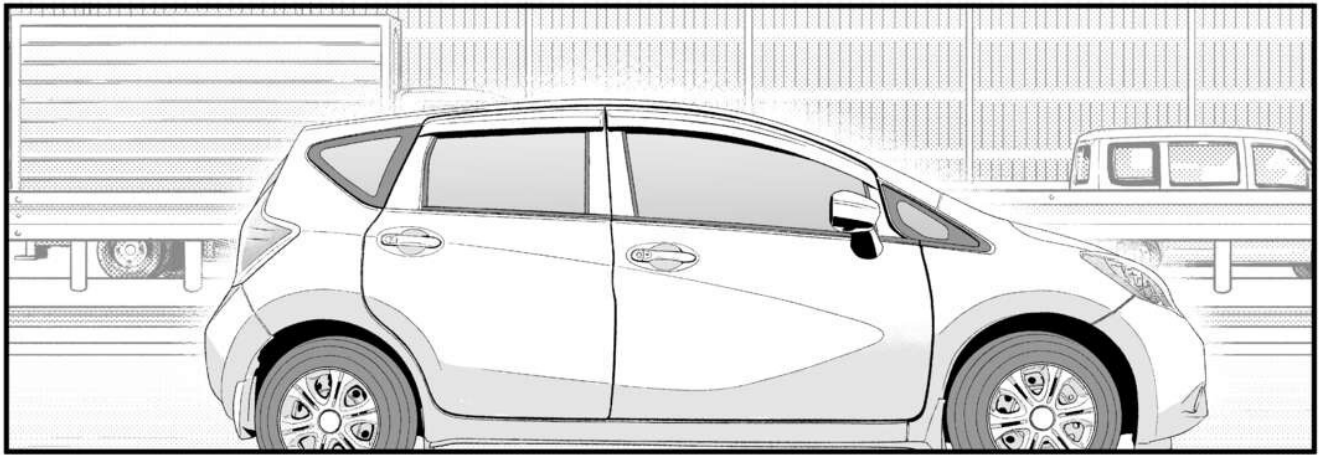
んーそうですね

今日はここに入社
してから一番楽しい
仕事になりそうです

そんな太客
なのか？

何だそりゃ

なっ！





男鹿様は
何故ここに
引越そうと？

実はその…

親から結婚相手
を見つけたるまで
帰ってくるなって

追い出され
ちゃって

はえ！あっ
えっと…



それで当分は
お見合いが
うまくいくまで

ここに住む
事になります

あはは変な
話ですよ

奇遇ですね

実は僕も
見合いを始めた
ばかりで

え



そうなん
ですか！？

あっえっ
お見合いとか
今時古いつて
思ってたん
ですけど…

案外そうでも
無いんですかね

でも他では
滅多に聞かない
ですもんねー





少し怖いんです

もし失敗が続いて
誰も上手く
行かなかったら

一人で生きて
行くしかないの
かなとか
思っちゃって…



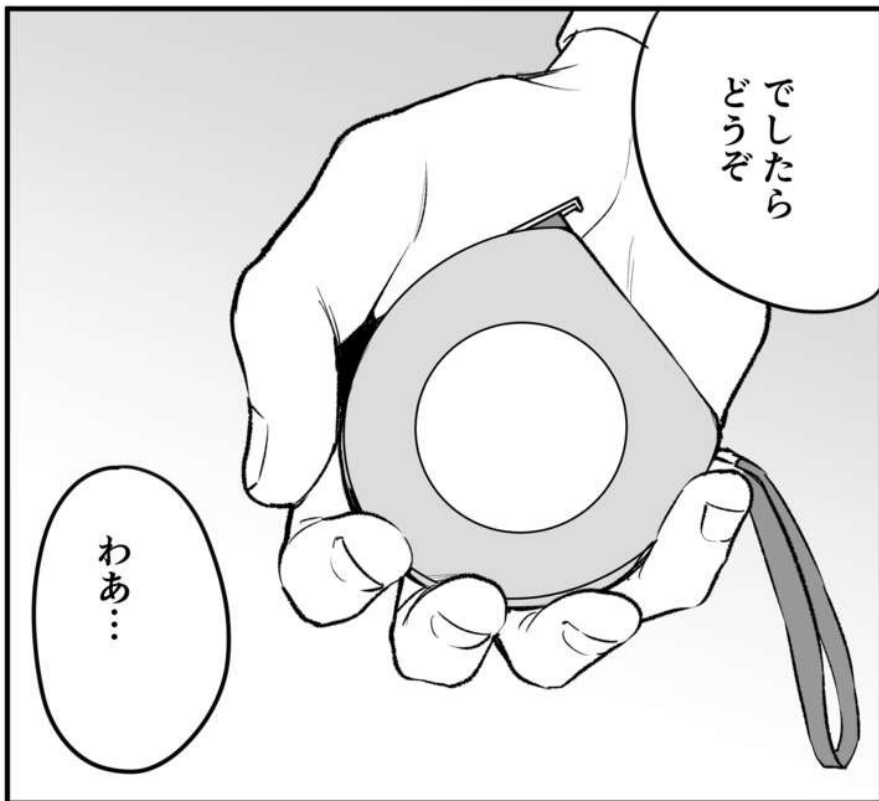
大丈夫



あ
すみません
また変な話
しちゃって



きつとうまく
行きますよ







僕たち
運命の番
ですよ



っ運命の
...っがいい？



そう



うっああ
待って…

薬飲んだのに
またあの変な
感じが…!

ドッ



本当に実在
したんだ
僕の番…!

ヒッ



っ待って
ください!

あっ
ごめんなさい
つい嬉しくて

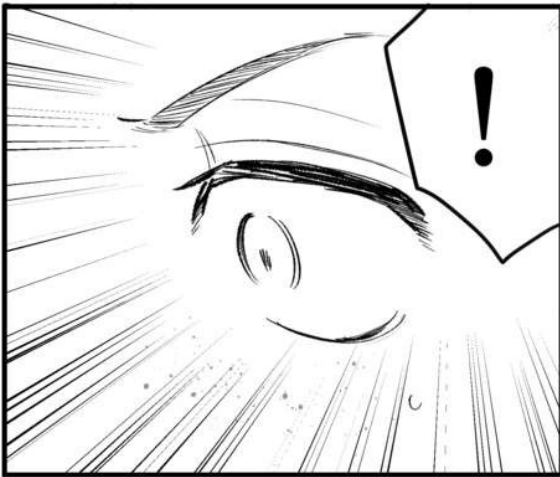
っ



ああのまず
運命の番って
言われても
急過ぎるし

そもそも俺は今日
お見合いしなくちゃ
いけない相手がいるのに
そんないきなり
番がいたんで辞めます
とか言えませんが…

それ僕
ですよ





ではまた
何かありましたら
ご連絡よろしく
お願いします

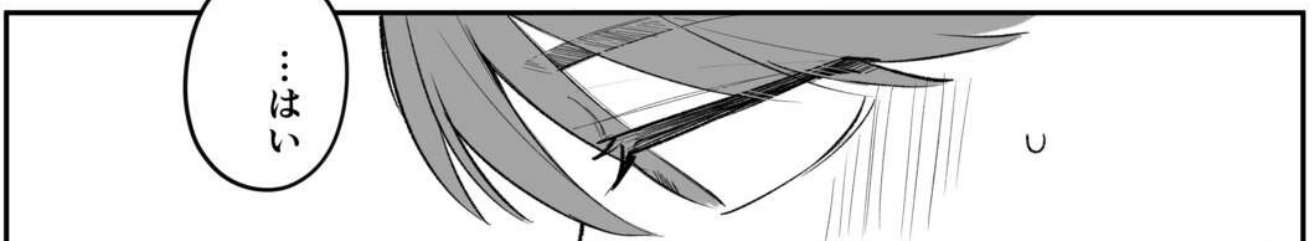
はい…
ありがとうございます
ございました



あつ
それと…



また
夜に



…はい



こんなことって
あるんだ…



ばああ

俺の結婚相手
見つかったんだ
!!!!!!

っ待った

でもまだ
本当に運命の
番かなんて
わからない

もしかしたら
そういう
営業的なもの
なのかも…

そんで後で
捨てられる
とかもあり得る



…でも
あの人と
いると

なんだか
よくわからない
感情が湧いて
くるのは不思議だ



はあ!?

客が
見合い相手で
運命の番だった
なあ!?



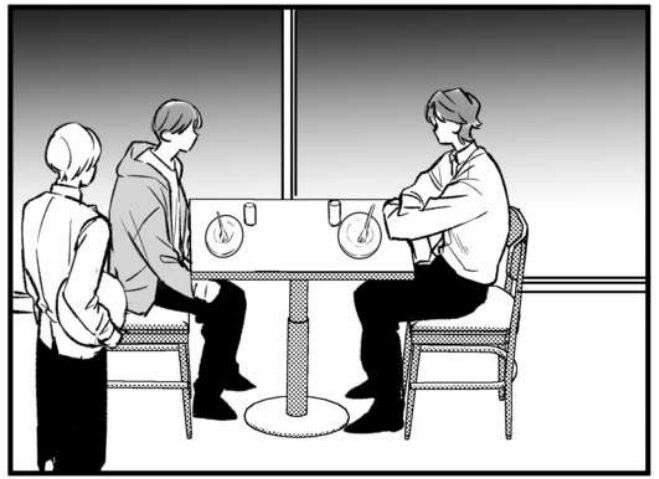
ちよつと
情報が多すぎ
ねえかよ…

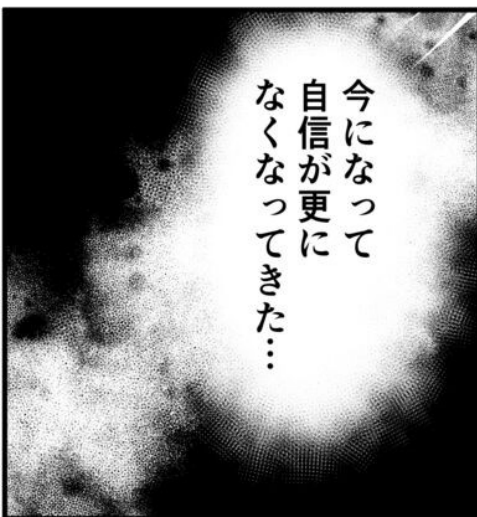
僕もまさか
こんなことが
あるなんて

思っても
なかった
ですよー

まあ運命って
そういうこと
なんでしょう









だって明らかに
相手はアルファ
の中でも上級の
高嶺の花

田舎から出て
きた何の
取り柄もない
俺には勿体無い



もし本当に
運命の番
だったとしても

俺よりもっと
相応しい人と
暮らす方が
絶対に幸せな
はずだ



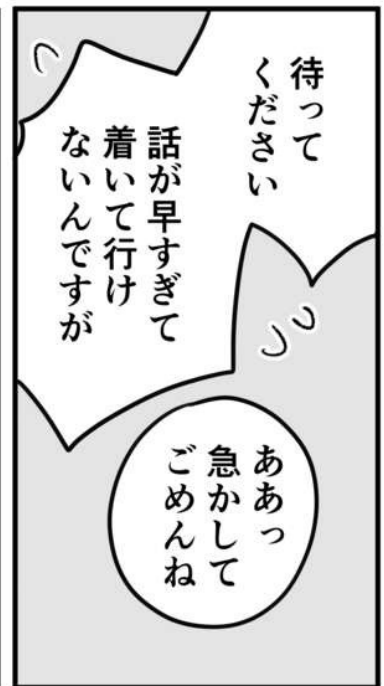
っやっぱり
今日は無しに…

そうだ
聞いておきたい
ことがあるんだ

?

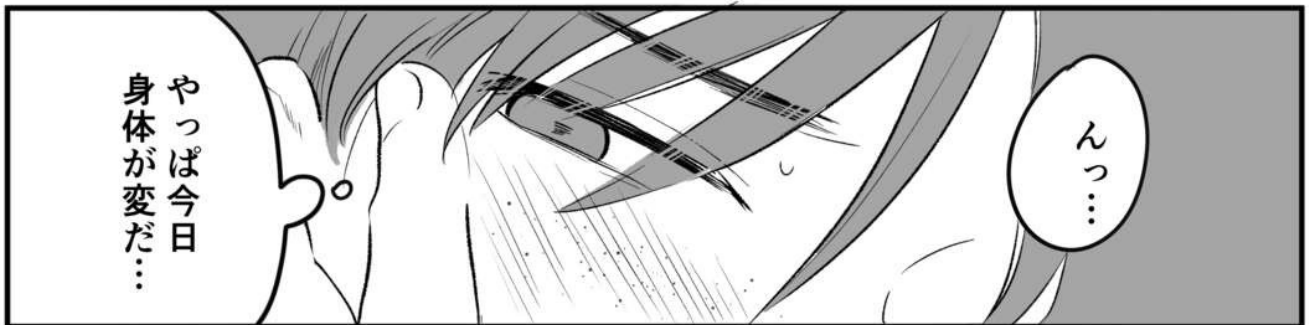


今からでも
遅く無い
断ら
ないと…!!





こんなに
なるのも
玲也くんの
前だけだよ



やっぱ今日
身体が変だ…

んっ…



…むしろ
初めてです



玲也くんは
こういう
ことって
あんまりした
ことない？



そっか…





そりゃあ
番にならないと

カア



やる事って？

まずその前に
やる事が
あったね



僕は君と
番になるまで

もちろん！

今から：
ですか？

帰すつもりは
ないよ







まず俺
経験も無いし



……
あのもう
一回聞きます
けど

ほ……ほんとに
俺でいいん
ですか……？



むしろ嬉しいよ

だって君の
これからの
初めてが

全部僕との
ものになるん
だから



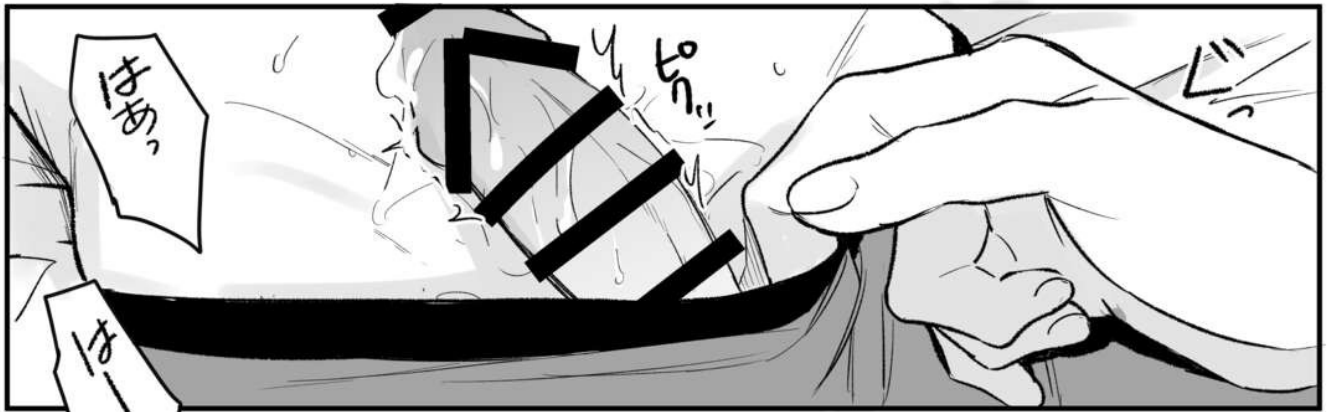
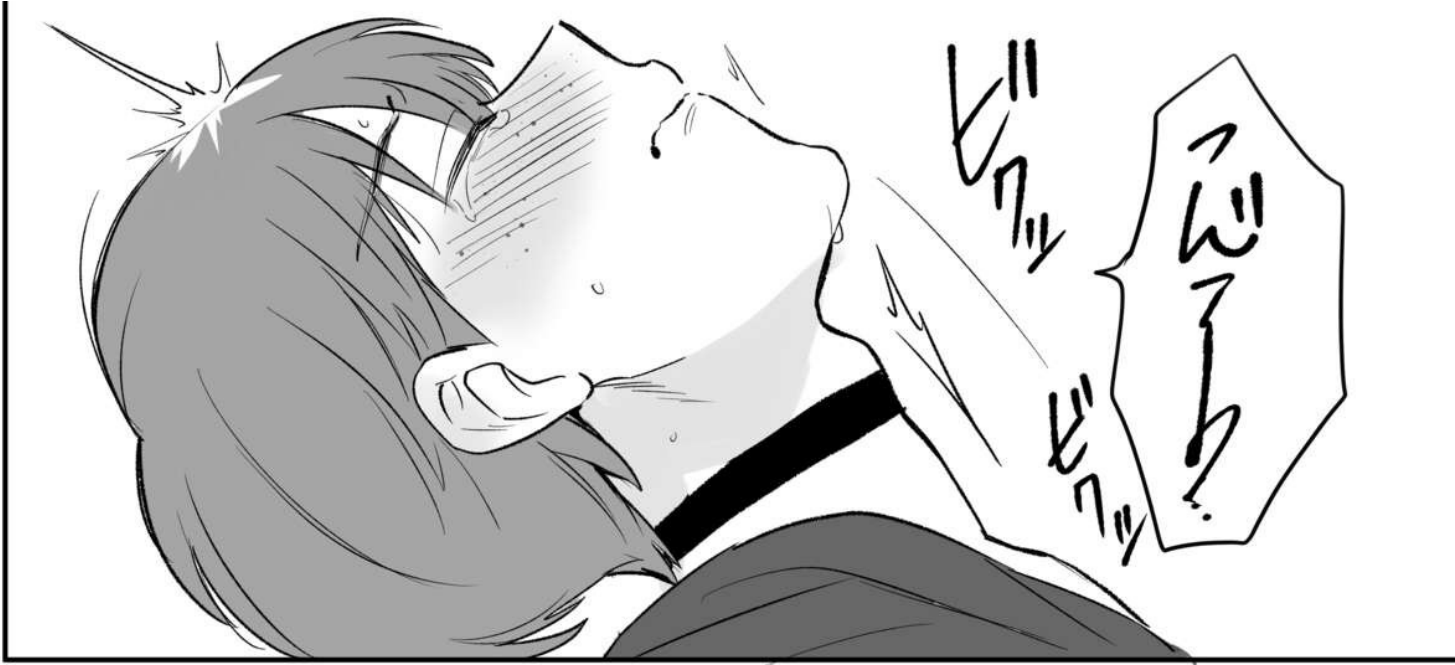
わからない
ことは教えて
あげる

だから
玲也くんのこと
ももっと教えて
ほしいんだ



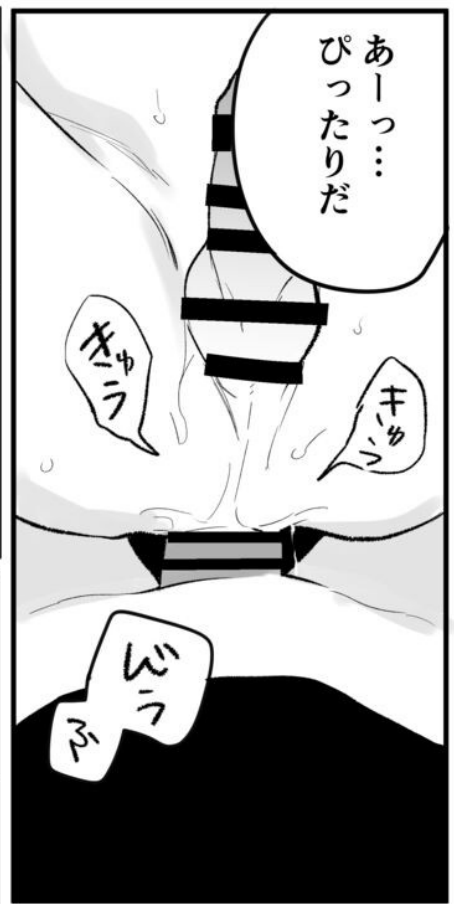














ほんとに
はいつてる...

ほっ

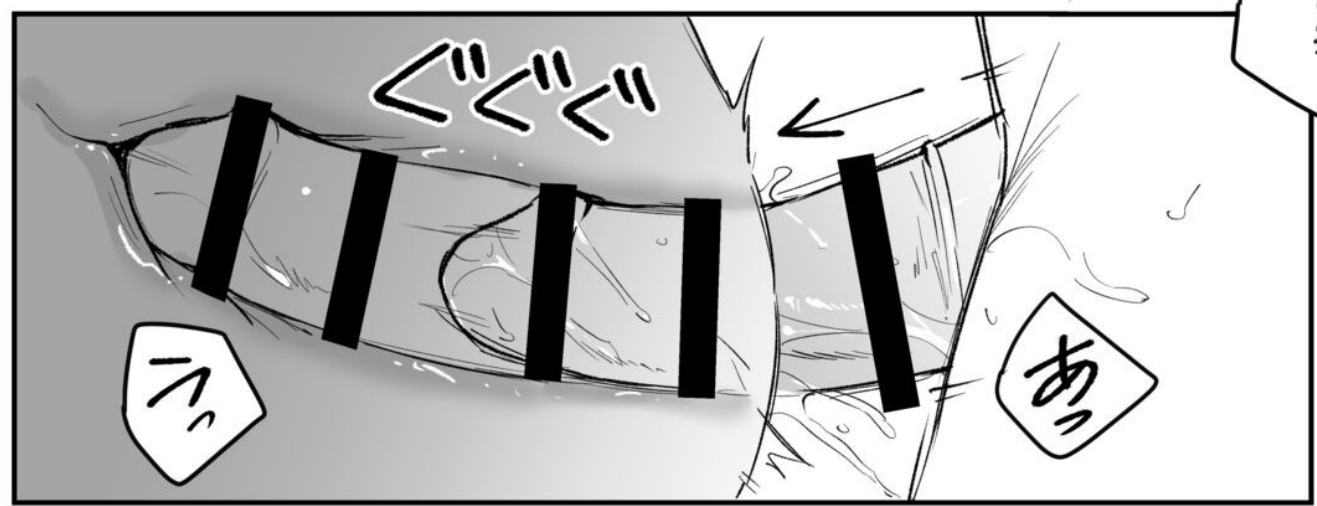
動くよ

はあ



うひゃー!!

あゝ



ぐぐぐ

ん

あゝ



これ紺野さんのやつだから

においが染み込んでて…!!



っ!



っはあ

んんっ



余計に反応しちゃう

ぐわん



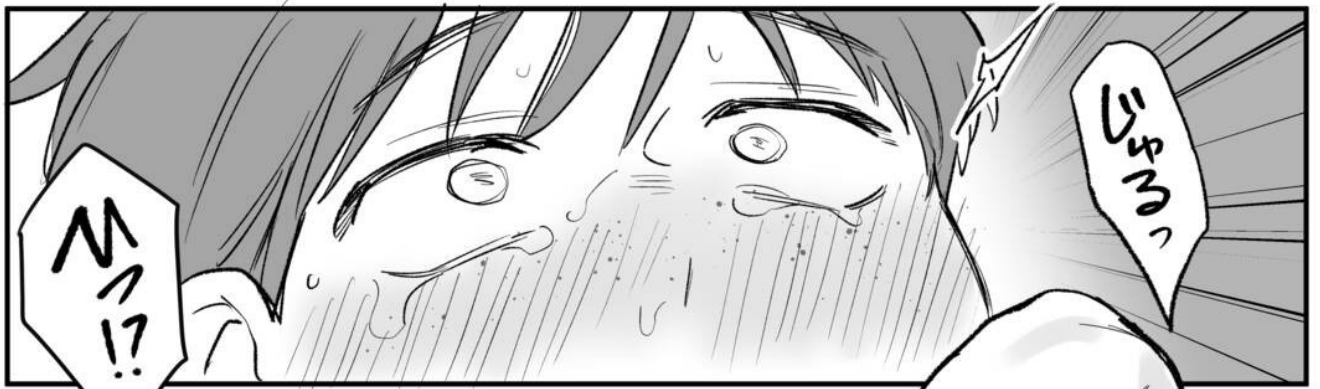
あっ…だめだ

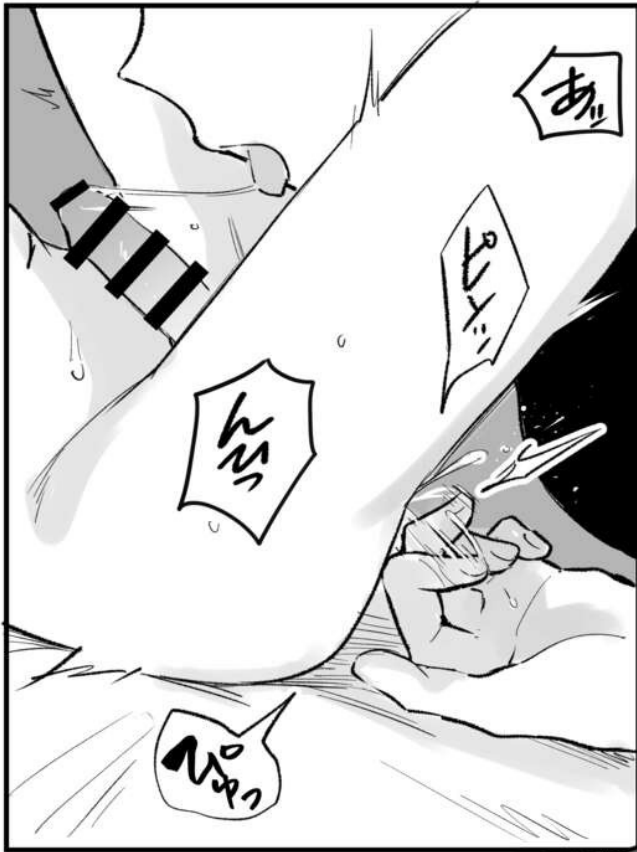
ヒートの日じゃないのに

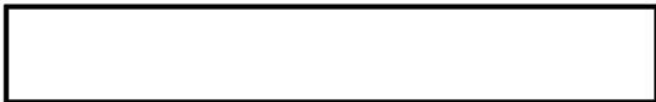
抑えられない…!!

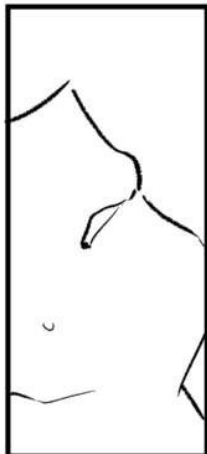
ぐわん

きゅんっ♡











俺も好きです...!



理性

カチカチ



えっなに?

かみかみ

カチカチ



紺野さん!?

カチカチ

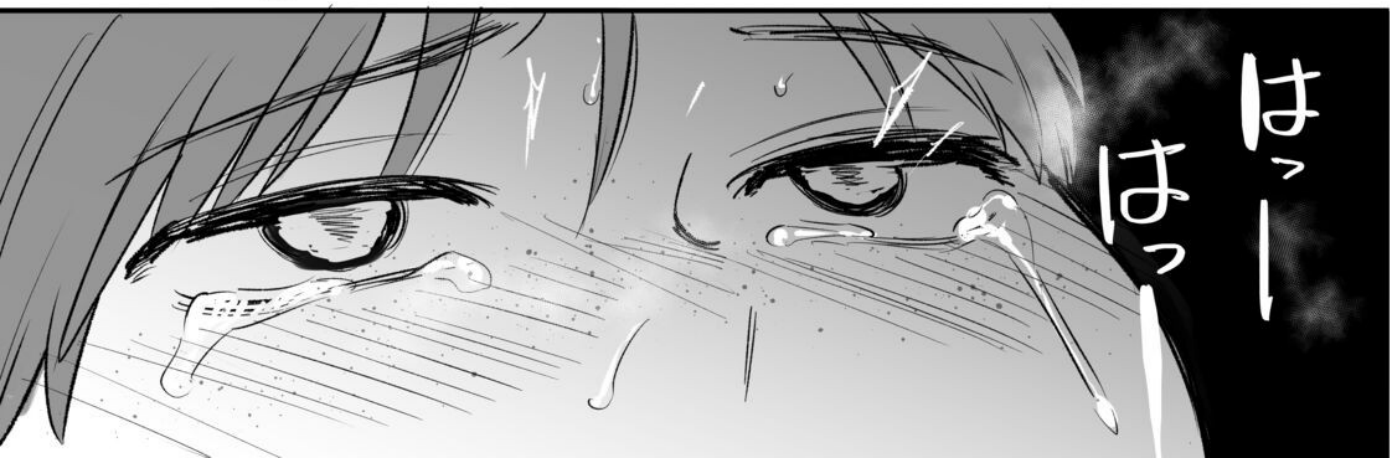
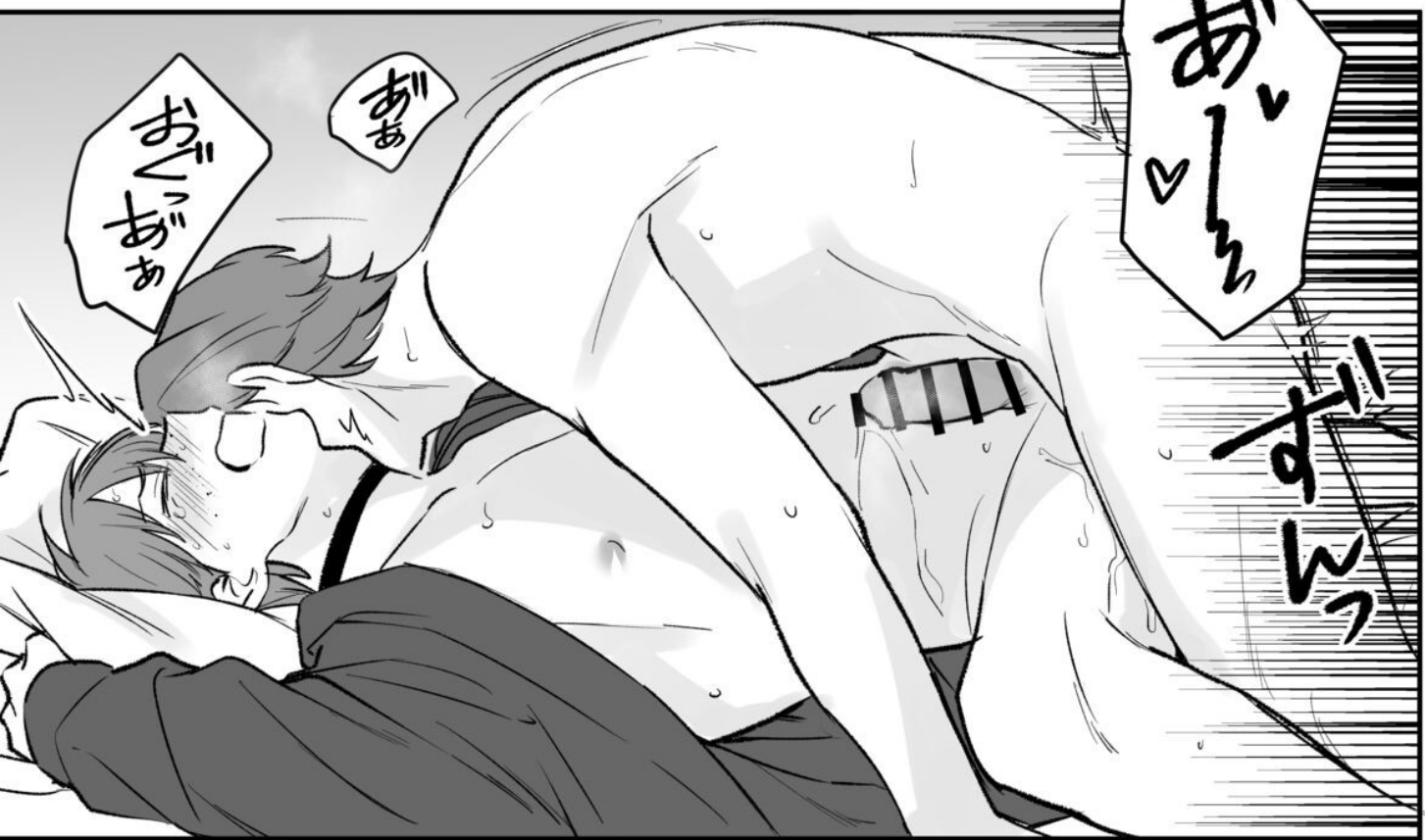


いめん...

ラット
来たかも







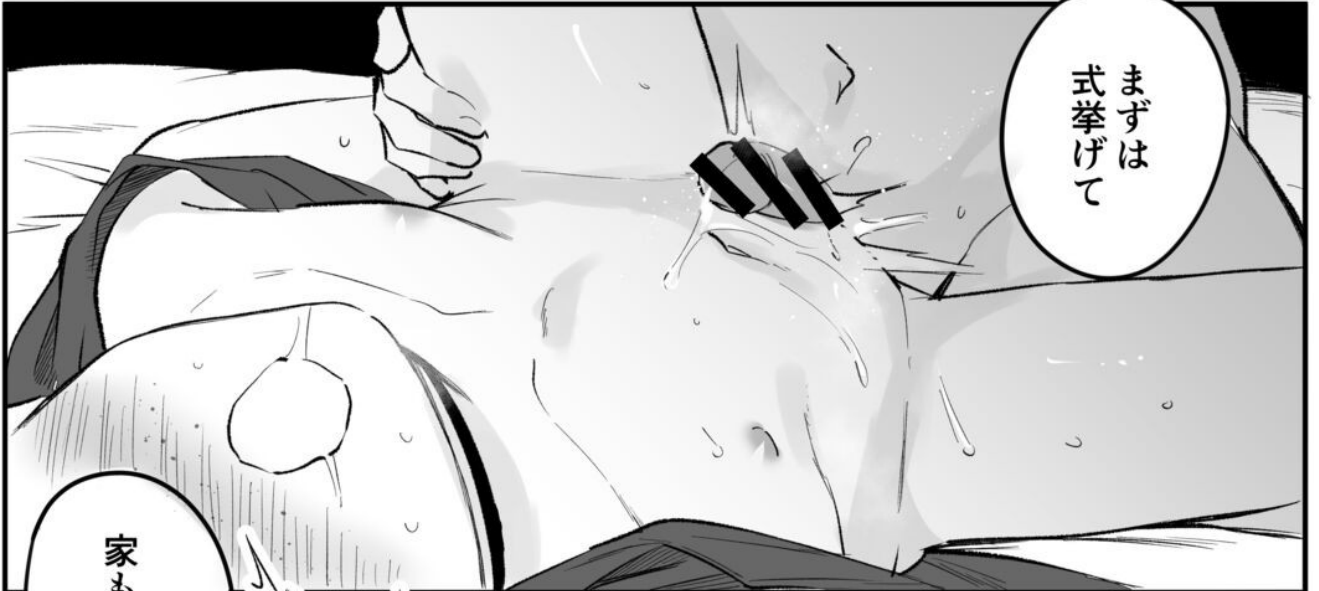


結婚したら
何しようか

ギッ

ギッ

ギッ



まずは
式挙げて



家も
買って



それから...

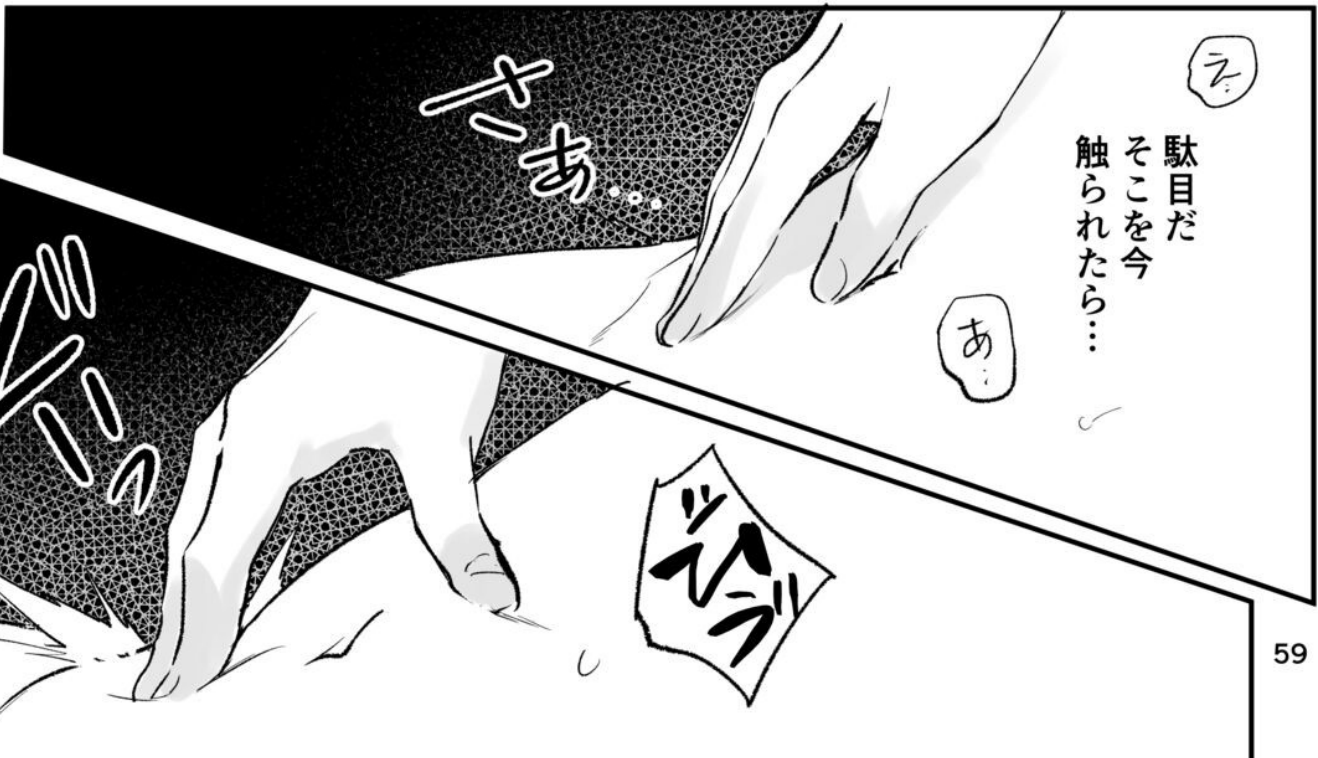
あっ

そういえば
玲也くんはさ...



子供
欲しい？

ムッ



ッッッ

あ..

駄目だ
そこを今
触られたら...

え..





…おねがい
します

人とこんな
ことしたこと
無いのに

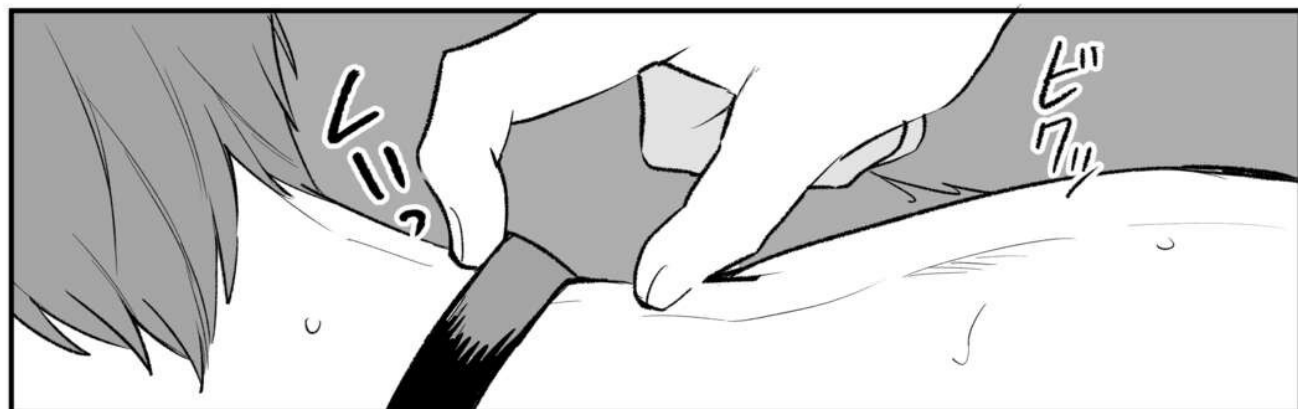


凄く気持ち
よくて

もっと
欲しくなる

この人は
本当に

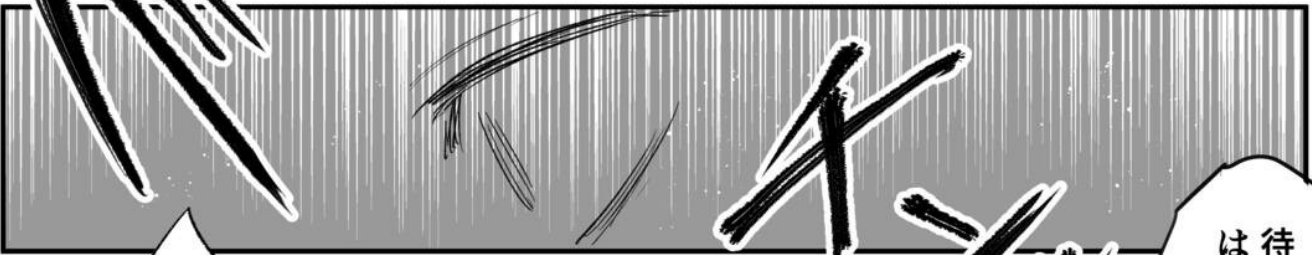
俺の
運命の
番
なんだ



噛んで良い?

うなじ...









今日から
うちに住み
なよ



いいんですか?



いいも何も
もう僕たち
番だからね

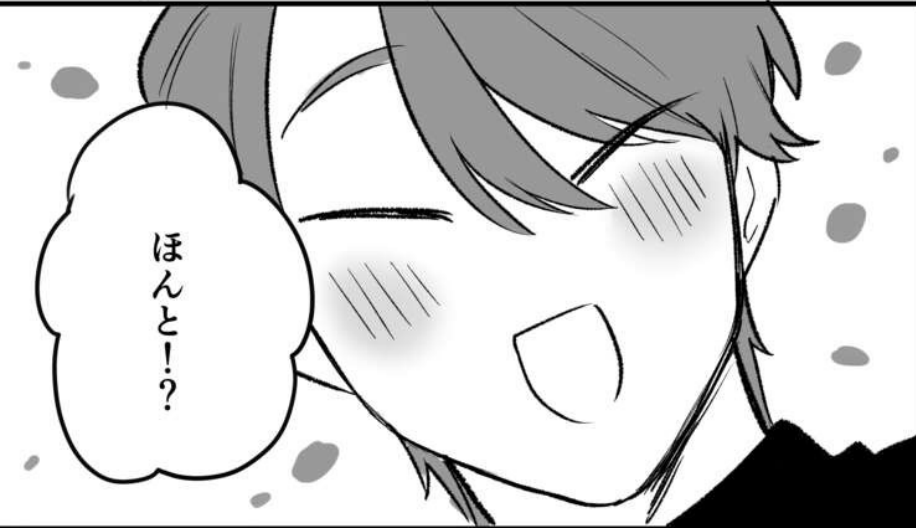
まだ家も
決めてない
わけだし

住んじやい
なよ

家探する
必要ないのか

はっ

どう?





終わり



紺野 真樹(30)

- 運命じゃなかったらただの胡散臭いやばいひと
- the α で完璧ながらも好きなものに対しては周りが見えなかったりするので引かれがち
- 結婚後は意外と玲也の尻にしかれてる可能性は大

男鹿 玲也(26)

- 実家暮らしでフリーターやってたら見合いに出された
- 性の知識浅めの純粹さが残る好青年
- 結婚後は紺野との生活や都会に慣れ主夫として遅しく成長していき子供二人を授かる頃には紺野を尻に敷くほどの嫁になる



あとがき

この度はご購入いただきありがとうございます！
1話完結の創作BLの同人誌を出すのはこれで二冊目ですが
今回は結構ボリュームな仕上がりになりました。
正直自分でもびっくりしてます…

この原稿を描くにおいて、切ギリギリに急性胃腸炎になったり
とかなり弊害がありながらそれでもなんとか完成できたある意味
思い出深い一冊になっております。

作品につきまして、初のオメガバース作品なので設定が間違っていたり
甘かったりとありましても大目に見ていただけると幸いです…！

実はこのカップルは元々サブカプの予定でメインは紺野の先輩だった
んですがメインより先にこのカップルのプロットがいい具合に完成して
しまったので今回はこちらから先に出すことになりました！
(メインの先輩の話はかなり長くなりそうで完成も未定です…)

改めてお手にとって読んでくださり本当にありがとうございます。

たいち